

<農業生産条件の強化に取り組む事例>

○水路・農道の整備で営農環境を改善

1. 集落協定の概要

市町村・協定名	宮崎県西臼杵郡五ヶ瀬町 スクナ原 にしうすきぐんごかせちようすくなばる			
協定面積 6.2ha	田（100%）	畑	草地	採草放牧地
	水稻等			
交付金額 103万円	個人配分 50%			
	共同取組活動 (50%)	役員報酬等		12%
		水路農道管理・整備		37%
		有害鳥獣防止対策費		1%
協定参加者	農業者 16人			開始：平成12年度

2. 取組に至る経緯

スクナ原集落は、兼業農家の多い集落であり、農業従事者の高齢化や担い手不足が懸念されている中、今後農業生産活動の低下が心配されていたことから、平成 12 年度から中山間地域等直接支払制度に取り組んできた。

活動では、特に農道・水路の管理や整備に重点を置き、参加者において話し合いを重ね、協力しながら自分たちの手で取組を実施している。また、鳥獣害防止対策として電気防護柵の設置にも力を入れ、集落一体となった取組を行っている。

3. 取組の内容

計画的に水路・農道の整備を実施することで、営農条件の改善を図り、生産条件の強化に努めている。また、水路・農道等の管理を協定参加者全員で実施することで、農業生産活動の体制整備を図っている。

また、農業機械・農作業の共同化によって高齢化・後継者不足に対応した担い手への利用集積や農作業受委託を推進しており、効率的な農業生産活動を目指している。

今後は、鳥獣害対策として協定参加者全員に箱ワナ免許取得の助成を行うことで、さらなる被害防止に努めることとしている。



【漏水整備作業中】



【漏水整備完成】

〔集落の将来像〕

- 集落内の水路・農道等の生産基盤環境の改善を図り、持続的な農業生産活動を行う。
- 農業経営者の高齢化や、後継者不足に対処するため、農業機械の効率的な共同利用や農作業の受委託を検討し、生産コストの低減と農作業の効率化を図ることにより、安定した農業経営を確立する。



〔将来像を実現するための活動目標〕

- 水路・農道の草刈り、泥上げ等の維持管理を協定参加者により実施する。
- 水路・農道等の整備を実施し、持続的な農業生産活動をするための環境づくりを図る。
- 獣害対策に参加者全員で取り組む。

〔活動内容〕

農業生産活動等	多面的機能増進活動	農業生産活動の体制整備
農地の耕作・管理（田 6ha） 個別対応	周辺林地の下草刈り （約 0.5ha、年 1 回） 個別対応	機械農作業の共同化 （畦塗機の共同利用 4ha） 共同取組活動
水路・作業道の管理 ・水路 4.0km、年 2 回 清掃、草刈り ・道路 1.0km、年 2 回草刈り 共同取組活動		農業の継続が困難となった農 用地が生じた場合に備え、サ ポート体制を構築する。 共同取組活動
農地法面の定期的な点検 （年 2 回及び随時） 共同取組活動		
獣害防止施設の整備 ・電気防護柵 2.0km 共同取組活動		

4. 今後の課題等

本制度に取り組むことで協定参加者による話し合いの場が多くなり、農業生産活動や集落活動が活性化し、意識の向上と連帯感が築かれている。

今後は、高齢化や後継者不足により耕作困難な農地について集落全体でフォローするなど、将来像に向けた取組を実践していく。

〔第 2 期対策の主な成果〕

- 水路の補修改良（L=200m）
- 農道の整備（生コン舗装）（L=100m）
- 農業用機械（畦塗り）の共同利用（2ha）
- 認定農業者の育成（3名→4名）